

2. リーディング・プロジェクトごとの評価

第1期基本計画では、将来ビジョンの実現に向けて、草津市のまちづくりを先導・けん引する4つのリーディング・プロジェクトを重点方針として位置付け、分野横断的な施策展開を図りました。

また、第1期基本計画は第2期草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体的に策定しており、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、第1期基本計画のリーディング・プロジェクトを、総合戦略の戦略目標として位置付けています。

◆未来を担う子ども育成プロジェクト

(1) プロジェクトのねらい

少子化や核家族化の進展、また、地域とのつながりの希薄化や保育ニーズの高まりなど、子育てや教育を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、子どもが未来を切り拓き、心豊かにたくましく生きていくためには、子育てや教育に関する様々な取組を推進する必要があります。

このことから、地域で子どもを守り育てるまちづくりの推進、子育て支援の充実や本市の強みを生かした教育など、子どもの豊かな育ちと学びを確かなものとしながら、生涯にわたって必要な生きる力の基礎を培い、心豊かでたくましく生きる子どもを育成し、未来に向けて健康を創造するまちをつくります。

(2) 分野ごとの第1期基本計画期間中における実施状況

<学校教育>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

3-1 子どもの生きる力を育む教育の推進

指標	「子どもの生きる力を育む教育の推進」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	34.0	35.0	36.0	37.0		72.7%
		実績値	32.9	30.5	22.8	26.9	-		

3-2 学校の教育力の向上

指標	「学校の教育力の向上」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	26.3	27.6	28.9	30.0		85.3%
		実績値	25.0	22.9	20.5	25.6	-		

■ 主な取組概要と成果

・「豊かな心の育成」のため、生きる力を養い、持続可能な社会の創り手を育成するために、スクール ESD くさつ推進事業を導入し、地域社会の一員としての意識と行動力の育成を図りました。

- ・子どもの多様性を理解し、受け入れ、共に学び合うインクルーシブ教育を推進した結果、全国学力・学習状況調査において「人が困っていたら進んで助ける」と回答した児童は91.6%、生徒は88.2%となり、「豊かな心」の充実が図れました。
- ・中学校給食を全校で開始したことで、健やかな体の育成と食育の推進が図れました。
- ・教育環境の充実のため、電子黒板や1人1台端末を有効活用した学習活動を充実させた結果、児童生徒共通アンケートにおいて「電子黒板やタブレットを使った授業は分かりやすい」と回答した、児童は93.3%、生徒は91.4%となり、学校の教育力の向上が図れました。
- ・全小中学校の体育館等への空調設備の設置を進めるなど、教育環境の充実を図りました。

<子ども・子育て・若者>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

9-1 切れ目のない子育て支援

指標	「切れ目のない子育て支援」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	27.8	28.8	29.8	30.8		76.9%
		実績値	26.8	22.8	18.3	23.7	-		

9-2 就学前教育・保育の充実

指標	「就学前教育・保育の充実」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	31.0	32.0	33.0	34.0		75.3%
		実績値	29.5	24.4	19.1	25.6	-		

9-3 安心して子育てができる環境づくり

指標	子育てしやすいと思う市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	87.6	87.7	87.8	88.0		97.5%
		実績値	87.5	88.7	87.7	85.8	-		

9-4 子ども・若者の育成支援

指標	「子ども・若者の育成支援」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	17.7	18.4	19.1	19.8		83.8%
		実績値	17.0	16.0	12.7	16.6	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・妊婦や2歳までの低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を通じて、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実とともに、オンライン相談を開始するなど、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない相談支援の充実を図りました。

- ・特定不妊治療に要する費用の一部助成や出産応援給付金、子育て応援給付金、各種助成、物品の支給を行うことで、子育て世帯の経済的負担を軽減と、安心して子育てができる環境の整備を進め、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援の充実を図りました。
- ・保育士等就職定着応援支援事業および保育士等奨学金返還支援事業により、保育士の人材確保に向けた制度を整備するとともに、バスツアーによる施設見学やワークショップ、保育サロンにおける相談会など保育士の魅力を発信することで、保育士の確保に繋げることができました。
- ・子ども医療費助成制度の対象年齢の上限を12歳から18歳まで拡大し、広く子育て世帯の負担軽減を図ることができました。
- ・妊娠期からの継続した支援を実施するため、子ども家庭総合支援拠点の設置など、適切な支援につなぐことのできる体制づくりを進めました。また、妊産婦、子育て世帯、子どもへの相談支援を一体的に行い、更なる体制の充実を図るため、こども家庭センターの設置準備を進めました。
- ・ひきこもり等の困難を有する子ども・若者や家族への切れ目のない支援を充実するため、「草津市子ども・若者総合相談窓口」や「草津市子ども・若者の居場所」の開設など、相談体制の充実や支援ネットワークの構築、居場所の設置を通じて、社会生活を円滑に営むことが困難な子ども・若者やその家族への支援体制を整えることができました。

(3)プロジェクトの評価

上記の取組概要と成果から、プロジェクトに関連する分野に紐づく基本方針のもと、施策・事業を進めた結果、心豊かでたくましく生きる子どもを育成し、未来に向けて健幸を創造するまちの実現に向け、一定推進することができていると考えます。

一方で、ベンチマークにおける目標到達度では、6つのベンチマークのうち、1つは令和5年度実績値が令和2年度実績値を上回っているものの、残り5つにおいて、令和5年度実績値が令和2年度の実績値を下回る結果となっており、市民の満足度につなげていない状況です。

少子化や核家族化、若年・高齢出産の増加等により、孤立感や育児不安等を抱く妊婦・子育て家庭も増加しており、子育て家庭の抱える課題も多岐に渡っているなど、子育て支援や教育を取り巻くニーズは一層高まっており、安心して子どもを産み、子育てできるまちづくり、また、未来を担う人材づくり、子どもの教育環境のより一層の充実が求められています。

◆地域の支え合い推進プロジェクト

(1)プロジェクトのねらい

家族形態やライフスタイルの変化、地域コミュニティの希薄化を背景に、多様化する市民ニーズに対して、従来の行政サービスでは解決できない複合的な課題が増加しています。こうした中、子どもから高齢者まで、また、障害者や外国人、生活に困難を抱える人など、すべての人々が地域や暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことのできる社会の実現に向けた取組を推進する必要があります。

このことから、地域住民が地域課題を「我が事」と捉え、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながるなど、お互いを大切に、支え合い、絆をつむぎながら、誰もがいつまでも元気に活躍できる健幸を創造するまちをつくります。

(2)分野ごとの第1期基本計画期間中における実施状況

<生涯学習・スポーツ>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

4-1 生涯学習の推進

指標	「生涯学習の推進」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	14.2	14.7	15.2	15.7		149.7%
		実績値	13.7	21.2	21.3	23.5	-		

4-2 スポーツの充実

指標	20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	57.6	60.0	62.5	65.0		81.7%
		実績値	55.2	59.5	57.6	53.1	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・立命館びわこ講座の開講や学習ボランティア活動の推進など、学習情報の提供と学習機会の充実に図り、生涯学習を推進することができました。
- ・南館の開館20周年と本館の開館40周年に伴い、館内リニューアルや各種イベントの実施、新移動図書館車の導入や読書ポイント事業を開始など、図書館の利用促進を図り、読書のまちを推進しました。
- ・新たな学校体育施設の開放や、社会体育施設等の改修・修繕等を行うなど、スポーツ機会の充実や環境づくりを進めることができました。
- ・草津市立プールの整備を進めるなどスポーツ環境の充実に図るとともに、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、草津市実行委員会を組織するなど、より良い大会の実現に向けて準備を進めました。

<コミュニティ>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

6-1 市民自治の確立

指標	市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	23.0	24.5	26.0	27.5		85.5%
		実績値	17.3	20.9	19.1	23.5	-		

6-2 基礎的コミュニティの活性化

指標	地域の組織やグループに加入している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	38.6	39.3	40.0	40.7		84.0%
		実績値	35.5	34.5	33.0	34.2	-		

6-3 市民公益活動の促進

指標	市民公益活動団体等の数(市民総合交流センター登録団体数)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	99	106	113	120		101.7%
		実績値	92	143	134	122	-		

6-4 多文化共生社会の構築

指標	多文化共生に関する研修、交流会等の参加者数(人数)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	1,200	1,400	1,500	1,600		161.9%
		実績値	1,000	1,892	2,540	2,591	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・まちづくり協議会に対する地域まちづくり一括交付金、地域課題解決応援交付金の見直しを行い、より地域の主体性を促進するような支援や、まちづくり拠点の充実、まちづくり協議会の組織運営への助言、財政的な支援を行い、市民主体のまちづくりの推進を図ることができました。
- ・令和3年5月に市民総合交流センターの供用を開始し、新たなまちづくり活動の拠点として市民の交流を促進することができました。
- ・町内会長戸別訪問などを通じて、地域の課題を共有しながら、課題解決に向けた取組事例を情報提供するなどの支援を行うことにより、基礎的コミュニティを中心とした顔の見える地域社会の実現に向けた取組を推進することができました。
- ・中間支援組織である(公財)草津市コミュニティ事業団を通じて、相談、コンサルティング等の伴走支援をはじめ、活動を支援する補助金制度の活用や、まちづくり講座、交流イベントを実施し、市民公益活動の促進を図りました。
- ・草津市国際交流協会を通じて研修会や交流会を実施し、国際理解や多文化共生の推進に努めました。

<地域福祉>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

7-1 「地域力」のあるまちづくり

指標	「地域力」のあるまちづくり」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	21.0	22.0	23.0	24.0		91.3%
		実績値	19.8	24.2	19.5	21.9	-		

7-2 福祉の総合的な相談・支援の充実

指標	「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	17.4	17.8	18.2	18.6		103.2%
		実績値	17.0	19.3	17.5	19.2	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・つながりや支え合いの基盤を強化するため、各種社会福祉関係団体の活動や地域支え合い運送事業を支援するなど、地域で支えるネットワークづくりを推進しました。
- ・地域共生社会の推進に関して、国の重層的支援体制整備事業を活用し、これまでの相談支援・地域づくり支援に多機関協働事業、アウトリーチ支援事業、参加支援事業を加え、一体的に取り組む体制を整え、複雑化・複合化した福祉課題に対応する包括的支援体制の強化を図りました。
- ・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、複合的な課題に対し相談支援を行いました。

<健康>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

8-1 市民の健康づくり

指標	「市民の健康づくり」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	27.5	30.5	33.5	36.5		92.9%
		実績値	26.5	34.6	36.6	33.9	-		

8-2 医療保険制度の適正運用

指標	「医療保険制度の適正運用」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	27.5	30.5	31.5	32.5		100.0%
		実績値	25.3	30.1	30.1	32.5	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・地区担当保健師による地区診断を基にした実態把握やまちづくり協議会をはじめとする地域団体、地域の関係機関・企業等との課題共有を行う等、地域の主体的な健康づくりの取組を支援し、健康づくりに関する地域の気運の高まりや行動変容を図ることができました。
- ・ナッジ理論を活用した個別勧奨通知や無料クーポン券の送付のほか、集団けん診において、がん検診と特定健診を同時実施することにより、がん検診および特定健診の受診率を向上させることができました。
- ・国民健康保険制度や後期高齢者医療制度、福祉医療費助成制度を適切に運用しました。

<長寿・介護>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

10-1 いきいきとした高齢社会の実現

指標	「いきいきとした高齢社会の実現」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	29.0	30.5	32.0	33.5	72.5%
		実績値	27.5	23.0	23.9	24.3	-	

10-2 あんしんできる高齢期の生活への支援

指標	「あんしんできる高齢期の生活への支援」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	26.6	27.3	28.0	29.0	70.0%
		実績値	25.9	20.7	19.5	20.3	-	

■ 主な取組概要と成果

- ・生きがいづくりや健康づくり、仲間づくり等の充実を図るため、地域サロン、いきいき百歳体操等の介護予防活動、フレイル予防にかかる出前講座等を推進し、地域主体の介護予防活動の継続的な取組を推進することができました。
- ・(公社)草津市シルバー人材センターが行う就業機会の提供や地域に根ざした事業に対して補助を行い、高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進に寄与しました。
- ・高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるため、学区ごとに、「学区の医療福祉を考える会議」を開催し、高齢者を中心とした地域課題について、地域の各関係機関や医療・介護・福祉の専門職等で共有し、解決に向けた取組を推進しました。

<障害福祉>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

11-1 共に生きる社会の推進

指標	「共に生きる社会の推進」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	19.8	21.4	23.0	24.6	
		実績値	18.2	17.8	15.3	15.9	-	

■ 主な取組概要と成果

・外出時の移動への支援など、障害のある人の社会参加の促進に努めるほか、草津市指定特定相談支援等体制強化費補助金等により、相談支援体制の強化を図るなど、障害のある人が地域に居住し、日常生活や社会生活を営むことができるよう支援の充実を図りました。

(3)プロジェクトの評価

上記の取組概要と成果から、プロジェクトに関連する分野に紐づく基本方針のもと、施策・事業を進めた結果、誰もがいつまでも元気に活躍できる健幸を創造するまちの実現に向けて、一定推進することができていると考えます。

ベンチマークにおける目標到達度では、13あるベンチマークのうち、5つは令和5年度時点ですでに令和6年度の目標値に到達することができました。また、3つは令和5年度実績値が令和2年度実績値を上回っています。中でも2つは、令和5年度目標値に届いていない指標もあるものの、令和2年度実績値を毎年上回ることができており、増加傾向にあると言えます。一方、5つは令和5年度実績値が令和2年度の実績値を下回る結果となりました。

長引くコロナ禍の影響で町内会の活動が減少し、町内会への加入に影響があるなど、コミュニティの希薄化が一層深刻となっています。人や地域とのつながりが少ないことによる「望まない孤独」や「社会的孤立」により心身の健康面への影響が生じるリスクが高いことから、人と人とのつながりづくりの視点を取り入れた地域の健幸づくりなど健幸都市づくりをさらに進めるとともに、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現が求められます。

◆にぎわい・再生プロジェクト

(1)プロジェクトのねらい

市全体では、人口増加傾向にあります。一部は、郊外部においては、すでに人口減少が進んでいます。また、まちなかにおいても、将来的な人口減少により、にぎわいや魅力の低下が懸念されます。こうした中、各地域の状況や課題に応じた取組が求められています。

このことから、まちなかでは、にぎわいと魅力にあふれるまちづくりを進めるとともに、郊外部では、地域の産業や資源等を生かした取組を推進するなど、地域らしさを大切にしたまちづくりを進めます。また、まち全体に公共交通ネットワークを形成するなど、市内外から人が集い、行き交い、将来にわたり、利便性が高く快適に暮らし続けられる健幸を創造するまちをつくりまします。

(2)分野ごとの第1期基本計画期間中における実施状況

<歴史・文化>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

5-1 文化財の保存と活用

指標	「文化財の保存と活用」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	18.8	19.3	19.8	20.3		130.0%
		実績値	18.3	25.9	24.3	26.4	-		

5-2 文化・芸術の振興

指標	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	21.4	21.6	21.8	22.0		110.5%
		実績値	21.2	21.8	23.5	24.3	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・歴史資産を将来へ継承するため、発掘調査の実施や「史跡草津宿本陣」や「史跡芦浦観音寺跡」の整備など、歴史資産の保存・活用に向けた取組を進めるとともに、草津の歴史文化の魅力伝えるため、テーマ展、ワークショップ、講座等を開催し、多くの市民に歴史文化に親しむ機会を創出しました。
- ・「草津のサンヤレ踊り」を含む「近江湖南のサンヤレ踊り」のユネスコ無形文化遺産登録に関する取組を実施するなど、文化財継承への機運醸成を図りました。
- ・アートフェスタくさつや市美術展覧会等、文化振興施策を進め、文化・芸術に触れる機会を創出しました。

<交通>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

15-1 公共交通ネットワークの構築

指標	「公共交通ネットワークの構築」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	24.0	24.7	25.4	26.1		66.3%
		実績値	21.1	19.2	18.2	17.3	-		

15-2 交通安全対策の推進

指標	「交通安全対策の推進」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	21.9	22.5	23.1	23.7		76.4%
		実績値	21.3	20.3	16.0	18.1	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・「草津市地域公共交通網形成計画」を「草津市地域公共交通計画」へと新たに改定し、公共交通ネットワークのさらなる充実を図りました。
- ・バス交通不便地における地域住民の移動手段を確保するため、まめバスおよびまめタクを運行するとともに、公共交通のさらなる利便性向上を目指し、まめバス路線の再編とまめタク運行エリアの拡大を行いました。
- ・駅周辺における需要に対応した自転車駐車スペースを確保するため、草津駅西口自転車駐車場の建替や(公財)自転車整備センターによる南草津西口第2自転車駐車場の整備により、将来の需要予測台数を確保し、自転車の利用環境の整備を図りました。
- ・交通安全に対する意識を高めるため、交通安全推進団体とともに交通安全啓発活動や交通安全シニアカレッジを開催するなど、交通安全意識の高揚を図りました。

<農林水産>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

18-1 農業の振興

指標	草津市農業産出額(千万円)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	310	312	314	316		75.6%
		実績値	309	257	231	239	-		

18-2 水産業の振興

指標	北山田・志那漁港の漁獲高(万円)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	910	880	851	823		62.2%
		実績値	941	886	665	512	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・馬場山寺地区の基盤整備事業、草津用水2期事業を推進するとともに、「道の駅草津リノベーション基本構想」の策定を行いました。また、「草津ブランド市」や湖南農業高校と連携した「次世代マルシェ」を開催することで、地産地消を推進し、地場産物の需要・販路拡大を推進するなど、農業経営の強化、農地の保全・管理、地場産物の需要・販路拡大の取組を進め、持続可能で安定的な農業経営の推進を図りました。
- ・琵琶湖のごみ回収を行うなど、漁業環境の保全活動を行うとともに、「草津水産まつり(水産フェア)」を開催し、体験型イベントを通じて、漁業・水産資源の多面的な利活用に向けた取組を行いました。

<商工観光>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

19-1 中心市街地の活性化

指標	「中心市街地の活性化」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	22.3	25.3	28.3	31.3		98.4%
		実績値	21.3	22.6	22.3	30.8	-		

19-2 商業の振興

指標	買い物する環境が整っていると思う市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	74.0	74.5	75.0	75.5		102.4%
		実績値	73.7	75.8	76.6	77.3	-		

19-3 工業の振興

指標	支援制度の活用により、市内立地(施設の更新含む)・創業した事業者数(事業者)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	5	5	5	5		240.0%
		実績値	5	9	11	12	-		

19-4 観光の振興

指標	観光入込客数(人)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	2,645,000	3,160,000	3,192,000	3,224,000		91.4%
		実績値	2,130,400	2,206,676	2,729,254	2,948,110	-		

19-5 勤労者福祉の向上

指標	働きやすい労働環境であると感じる市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	31.0	32.0	33.0	34.0		97.6%
		実績値	30.7	34.7	31.7	33.2	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・中心市街地活性化協議会が行うイベントや空き店舗への店舗出店希望者へ補助金を交付することにより、中心市街地の賑わいを創出し、地域の振興に寄与するような店舗を空き家、空き店舗に誘致することで、都市の魅力の向上を図ることができました。
- ・草津商工会議所へ補助金を交付するなど、地域経済団体との連携等の結果、「買い物する環境が整っていると思う市民」の割合は年々増加しており、商業基盤の強化を図ることができました。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急経済対策事業を実施するなど経営に大きな影響を受けている市内の中小企業等を支援しました。
- ・創業希望者や事業者等が抱えるビジネス上の課題に、ワンストップで支援する体制を構築するため、草津商工会議所と共同で「草津市ビジネスサポートセンター」を開設し、創業希望者や新たな事業に挑戦したい事業者等に対する支援を行いました。
- ・湖南地域観光振興協議会やびわこビジターズビューロー等と連携して広域観光事業を実施することで、観光客や観光消費額等の増加を図りました。
- ・各勤労者福祉団体に補助金を交付し、各団体が実施する各事業の充実を図ることによって、勤労者の福利厚生の上昇を図ることができました。

<都市形成>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

20-1 都市と住環境の質・魅力向上

指標	「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	17.0	18.0	19.0	20.0		97.5%
		実績値	16.3	21.2	19.4	19.5	-		

20-2 まちなかの魅力向上と地域再生の推進

指標	「まちなかの魅力向上と地域再生の推進」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	18.7	19.7	20.7	21.7		86.6%
		実績値	17.7	21.5	19.2	18.8	-		

20-3 良好な景観の保全と創出

指標	「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	22.0	23.1	24.2	25.3		77.1%
		実績値	20.9	19.0	17.3	19.5	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・空き家等の対策を推進するため、空き家等の発生抑制および適正管理に係る啓発等や、不動産団体と連携した利活用等の促進に関する取組を行うことにより、防災・衛生・景観等の生活環境への影響を抑制するとともに、良好な住環境を確保していくための対策が推進できました。
- ・JR 草津駅・南草津駅周辺においては、「草津市中心市街地活性化基本計画」等に基づき、官民連携により、都市機能の集積と有効活用によるエリア価値の向上に取り組みました。
- ・郊外部では、専門家による伴走型支援を行い、各学区の「まちづくりプラン」の策定と各地域の特性と資源を活かしたまちづくりの推進を図ることが出来ました。また、市街化調整区域における地区計画制度を用いて郊外部に生活拠点施設を誘致し、郊外地域における生活の利便性の維持・向上を図ることが出来ました。
- ・歴史景観の保全・活用のため、東海道沿道無電柱化事業を推進しました。また、広域的な自然景観の啓発のため、都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」へ応募し、表彰されました。

<公園・緑地>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

21-1 ガーデンシティの推進

指標	「ガーデンシティの推進」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	28.2	28.7	29.2	29.7		70.0%
		実績値	27.7	24.3	24.3	20.8	-		

21-2 草津川跡地の空間整備

指標	「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	41.8	41.9	42.0	42.1		86.7%
		実績値	41.7	40.6	42.7	36.5	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・多様な市民ニーズを踏まえた公園・緑地の整備や維持管理に向けて、地域のニーズを踏まえた公園の再整備工事を行い、公園施設の計画的な改修、更新を行いました。
- ・草津川跡地公園をより快適に利用していただくため、必要な工事等を行い、利用者の利便性向上に寄与するとともに、各種イベント等の取組みや活動など、維持管理・運営を行うことで、多くの方に来園して利用いただき、にぎわいを創出できました。

(3)プロジェクトの評価

上記の取組概要と成果から、プロジェクトに関連する分野に紐づく基本方針のもと、施策・事業を進めた結果、市内外から人が集い、行き交い、将来にわたり、利便性が高く快適に暮らし続けられる健幸を創造するまちの実現に向けて、一定推進することができていると考えます。

16あるベンチマークについて、4つは令和5年度時点ですでに令和6年度の目標値に到達しています。また、5つは令和6年度目標値には到達していないものの概ね増加傾向にあり、令和2年度実績値を毎年上回ることができています。一方、残りの7つは令和5年度の実績値が令和2年度の実績値を下回っている状況となっています。

人口減少社会の到来を見据え、交通ネットワークの充実や市街地、周辺部それぞれの地域特性を生かした魅力あるまちづくりを進め、活気にあふれるまちづくりを一層進める必要があります。

◆暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(1)プロジェクトのねらい

地球温暖化に伴う記録的な猛暑や豪雨災害の増加、大規模地震、感染症の世界的大流行など、これまでに経験したことのない事態が発生しています。また、犯罪率や交通事故件数が県内で高い水準となっています。こうした中、市民の暮らしの安全と安心を守る必要があります。

このことから、「強さ」と「しなやかさ」を備えた災害等に強いまちづくりを進めるとともに、自らの地域は自らで守るという意識の醸成や、誰もが安全で快適に生活できる環境整備を図るなど、市民・行政・関係団体等が一体となった取組を進めることで、暮らしの安全と安心を守り、健幸を創造するまちをつくります。

(2)分野ごとの第1期基本計画期間中における実施状況

<防災>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

12-1 自助・共助による防災対策の充実

指標	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		「自助・共助による防災対策の充実」に満足している市民の割合(%)	指 標	-	22.0	23.0	
実績値	21.5	19.9	19.6	17.8	-		

12-2 災害に強いまちづくり

指標	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		「災害に強いまちづくりに満足している市民の割合(%)」	指 標	-	24.0	25.0	
実績値	23.9	22.4	21.5	17.9	-		

12-3 治水対策の推進

指標	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		「治水対策の推進」に満足している市民の割合(%)	指 標	-	27.3	28.4	
実績値	26.2	26.1	24.9	22.5	-		

■ 主な取組概要と成果

- ・地域防災力の向上と地域コミュニティの活性化を図るために、市内の学区において取り組む地区防災計画策定に関する事業に対して支援を行った結果、5学区の地区防災計画の策定を支援するなど、自助、共助による防災対策を進めることができました。
- ・災害に強いまちづくりに向けて、新たに草津市立プールを避難所に指定し、防災備蓄倉庫を整備する他、避難所を迅速に開設するため避難所開設キットを作成するなど、災害に対する備えを一層進めることができました。

・大雨による家屋等の浸水被害の軽減・未然防止を図るため、雨水幹線の整備を進めました。

<生活安心・防犯>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

13-1 暮らしの安心の確保

指標	「暮らしの安心の確保」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	21.5	22.3	23.1	23.9	82.8%
		実績値	20.7	20.3	19.3	19.8	-	

13-2 犯罪のないまちづくり

指標	「犯罪のないまちづくり」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	29.0	31.0	33.0	35.0	77.4%
		実績値	27.3	26.1	22.5	27.1	-	

■ 主な取組概要と成果

- ・暮らしの中の困りごとの相談に応じ、解決に向けた支援を行うなど、市民生活における暮らしの安心を確保するための取組を進めました。
- ・新たな火葬施設の整備に向け、草津市と栗東市を構成市として草津栗東行政事務組合を設立し、事業が円滑に推進されるよう組合、栗東市と連携して取り組みました。
- ・犯罪を未然に防ぐまちづくりを進めるため、市で設置する防犯灯の設置要望の受付、町内会への防犯灯および防犯カメラ設置補助金の交付を実施する他、県内他都市と比べて大規模な防犯カメラの設置に取り組みました。

<環境>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

14-1 良好な環境の保全と創出

指標	「良好な環境の保全と創出」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	21.5	22.0	22.5	23.0	79.1%
		実績値	21.0	19.3	18.1	18.2	-	

14-2 脱炭素社会への転換

指標	地球温暖化対策に取り組む市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	40.3	42.3	44.3	46.3	77.5%
		実績値	38.3	37.0	36.6	35.9	-	

14-3 資源循環型社会の構築

指標	「1人1日あたりのごみ排出量」(g/人・日)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度※
		指標	-	805	792	778	764	105.5%
		実績値	818	782	755	724	-	

※目標値を下回ることを目標としている。

■ 主な取組概要と成果

- ・市内の自然環境保全地区において、人家や集落、道路等へ倒木被害を与える恐れのある危険木調査を行い、管理者等が行う危険木の伐採等にかかる費用の一部を補助し、被害の未然防止を行うことで、自然環境保全地区の保全を図りました。
- ・地球温暖化による気候変動に対する危機意識を市民のみなさんと共有し、また、市をあげて脱炭素社会の実現に向けた行動目標を示すため、西日本初となる市と市議会の共同による「草津市気候非常事態宣言」を行い、ゼロカーボンシティを表明しました。
- ・「草津市スマート・エコハウス普及促進事業補助金」を開始し、家庭への再生可能エネルギー機器などの導入を推進した結果、年間約200トンのCO₂を、また、市本庁舎等の照明をLED化することで、合計で年間約162トンのCO₂を削減することができました。
- ・資源循環型社会の構築に向けて、第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づく取組等を推進した結果、1人1日あたりのごみ排出量は減少傾向にあり、ごみの減量・資源化を進めることができました。

<道路>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

16-1 安全・安心な道路の整備

指標	「安全・安心な道路の整備」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度
		指標	-	25.1	25.4	25.7	26.0	79.2%
		実績値	24.8	18.2	18.4	20.6	-	

■ 主な取組概要と成果

- ・誰もが安全で快適に移動できる道づくりのため、国・県の道路整備に関しては、「国・県要望」として、要望活動を実施した結果、これまで粘り強く継続してきた要望活動が実り、(都)平野南笠線が滋賀県道路整備アクションプログラム2023に位置付けられました。
- ・大江霊仙寺線(南笠工区その1)を供用し、南草津駅周辺の道路交通環境の向上を図りました。

<上下水道>

■ ベンチマークにおける目標値および実績値の経年変化

17-1 水の安定供給

指標	「水の安定供給」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	47.3	47.5	47.7	47.9		103.1%
		実績値	47.1	45.8	45.3	49.4	-		

17-2 下水道の安定運営

指標	「下水道の安定運営」に満足している市民の割合(%)	区分	R2	R3	R4	R5	R6	目標到達度	
		指標	-	36.8	37.0	37.2	37.4		108.0%
		実績値	36.6	37.8	38.8	40.4	-		

■ 主な取組概要と成果

・「第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕」「草津市下水道事業第9期経営計画(経営戦略)」を策定し、上下水道事業の健全経営に努めるとともに、上下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるなど適切な維持管理に努め、将来にわたり安定的で持続可能な上下水道事業の運営に向けて推進することができました。

(3)プロジェクトの評価

上記の取組概要と成果から、プロジェクトに関連する分野に紐づく基本方針のもと、施策・事業を進めた結果、災害等に強いまちづくりや、誰もが安全で快適に生活できる環境整備など、暮らしの安全と安心を守り、健幸を創造するまちの実現に向け、一定推進することができていると考えます。

しかし、11あるベンチマークのうち、3つが令和5年度時点で令和6年度の目標値に到達した以外は、8つとも令和5年度時点の実績値が令和2年度の実績値を下回る結果となり、市民の満足度にはつながっていない状況です。特に、「防災」の分野では、令和5年度の実績値がいずれも減少しており、1月に発生した能登半島地震の影響により市民の防災に対するニーズが高まっていることがうかがえます。

年々、災害が激甚化・頻発化していることから、災害に対する備えを一層強化し、市民の暮らしの安全と安心をより強固に守る必要があります。また、令和3年に国により「地域脱炭素ロードマップ」が示されるなど、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地方自治体に期待される脱炭素社会への転換に向けた役割が大きくなっているなど、豊かな自然を守り、脱炭素・資源循環型社会の構築に向けた継続的な取組が求められています。